

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		商店街（代表者）	・4月から大河ドラマの記念博が中心商店街の近くで行われることもあり、かなりの観光客を含めて、県外からの来客数が見込める。イベントのおかげで、商店街もにぎわう。	
		百貨店（営業担当）	・3月冷え込んだにもかかわらず、個人の買物単価、数量が拡大しているため、今後もっと改善する。	
		百貨店（売場担当）	・紳士衣料ではクールビズ効果が期待でき、雑貨では舶来時計を中心に売上が上昇してきている。	
		コンビニ（エリア担当）	・大都市のコンビニエンスストアにおいて消費が回復している兆候がみられるので、地方都市のコンビニエンスストアも2、3か月後には回復すると期待している。	
		乗用車販売店（従業員）	・新型車発表での来客数増加など動きは良くなっているため、今後の販売に期待している。	
		都市型ホテル（経営者）	・大河ドラマの記念博を4月から来年の1月まで行うので、これによる宿泊客の増加が見込める。	
		旅行代理店（従業員）	・団塊といわれる層も退職し始め、シルバー層を中心に旅行ニーズは高まってくる。企業の社内旅行もやや戻ってきており団体旅行も期待できる。	
		ゴルフ場（従業員）	・予約が順調に入っている。	
		美容室（経営者）	・大手企業のベア、株価、金利等の上昇により、緩やかではあるが、地方も景気回復に移行していく。	
		設計事務所（所長）	・単身者用のマンションで、ゆとりのある広めのプランが求められるようになってきている。	
		住宅販売会社（従業員）	・金利の上昇から駆け込み需要が伸び、2、3か月後に受注できる流れになる。	
		変わらない	商店街（代表者）	・物余りのなが買物をしない状況である。
			商店街（代表者）	・人口増加のない状況で、消費者には都会志向があり、新しい施設に流れる。限られたパイの中の循環に過ぎないため、お互いが疲弊していく。
一般小売店〔乾物〕（店員）	・ゼロ金利、量的緩和解除で景気は良くなっているようだが実感はない。我々中小企業は金利が上昇すると逆にデメリットになり、少し心配である。			
一般小売店〔酒〕（販売担当）	・金額ベースでの前年比がクリア出来れば良い流れが展望出来るが、まだその段階には達していない。			
スーパー（店長）	・季節商品も特段の動きがなく、また最近ヒット商品もないので、この先良くなる要素がない。			
スーパー（財務担当）	・他県からの新規出店が続き競争が激しくなっている中、また大型ショッピングセンターの出店が具体化し、厳しい状況が続く。			
衣料品専門店（経営者）	・中心商店街の来客数の減少が続いている。路面店のマイナスを百貨店などのインショップがカバーするこれまでの状態が今後も続く。			
家電量販店（営業担当）	・売れる商品が変わる時期でもあり、多少の期待感はあるが、来客数が悪くなっているため、回復に多少時間が掛かる。			
乗用車販売店（従業員）	・景気が少し良くなりかけたと思った所での長期金利上昇で、設備投資計画の見直しをすところも出てくる。			
住関連専門店（経営者）	・販売量が前年に比べて伸びない。			
タクシー運転手	・自家用車での移動が多く、タクシー利用は少ない。6月は早ければ梅雨入りし、昼間の客は増えるが夜の客は低下する。			
観光名所（経営者）	・食事予約は前年並みである。			
観光名所（職員）	・建物の改修工事を行っており、入場者数の増減はあまり変わらない。			
やや悪くなる	乗用車販売店（営業担当）		・サービス関係の客は増加しているが、新車購入の客は前年割れを続けている。	
	設計事務所（職員）	・年度を明けて販売量の停滞が見込まれ、競争相手との競争が激しくなり、単価低下等により利益率が下がる。		
悪くなる	-	-		
	-	-		
企業 動向 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・受注が単価の高いものにシフトしており、今後も荷動きが良くなる。	

		公認会計士	・いろいろな経営者から土地の値上がり等についての質問が多くなるなど、土地に対するの興味が出てきている。設備投資について本格的に考えようとしている。
変わらない		一般機械器具製造業（経理担当）	・リース料金が徐々ではあるが改善傾向を示してきており、今しばらくは順調な稼働状態が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・食品関係、燃料電池のような化学関係、また、コラーゲンを作ったりする化粧品メーカーでプラントの引き合いが続いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新たな技術開発による価格競争は、依然として継続している。
		輸送業（支店長）	・物流拠点の変更などで数か月の大きな収入ダウンもあるが、夏場からの引き合いもあり、一方で効率化も図るため、落ち込みの影響は予想より少ない。
		金融業（融資担当）	・取引先が都市部である一部メーカーの業績は好調であるが、全体的には低調である。公共工事依存の建設土木業主体の産業構造からの脱皮が急務である。
		広告代理店（経営者）	・一部のスポンサーの新規出店等による広告費増加を除くと、テレビ広告のレギュラー契約解約等の話が少し増えている。他のメディアに変更でなく予算カットの見込みであり、依然、地元スポンサーの広告費削減は継続する。
やや悪くなる		食料品製造業（従業員）	・新商品の起用はされているが、その回転が非常に悪く、2、3か月後は期待できない。
悪くなる		建設業（総務担当）	・公共工事の受注は全く見込めない。民間工事は、見積依頼件数は若干増える傾向にあるが、価格が厳しく、成約には至らない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・新規求職者数は、事業主都合による離職者、自己退職者、在職者が増加したため、前年同月と比べて2か月連続で増加している。特に在職者については、勤務先に退職の申出をしないまま、よりよい事業所への転職を希望する者が増えている。
		民間職業紹介機関（所長）	・景気の上向き感もあり、企業の採用活動が中途採用、新卒採用を含めて活発になってきている。パブル後に多くリストラをしてきたので年齢層にゆがみが出てきている企業もあり、年齢の段差を埋めるために採用をしている企業もある。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イベントも少々予定されているが、全体として消費が上向く案件が見当たらない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・19年度向け採用は始まってはいるが、極めて緩やかで、まだ先の見通しが安定しない。
やや悪くなる		人材派遣会社（支店長）	・派遣利用が減って企業の直接採用が増加しており、当社にとってみれば、やや不利な状況になってきている。一方、紹介予定派遣のニーズが増加してきている。
悪くなる		-	-